

## 編集後記

『〈教育と社会〉研究』24号を皆様のお手元にお届けすることができましたことをうれしく思います。

90年代以降の公教育の揺らぎを背景に、既存の公教育制度の相対化が模索されている動きがあります。『〈教育と社会〉研究』第24号では、公教育制度の課題や限界を確認する上で「格差と包摂のダイナミクス」というテーマで特集を組むことを企画いたしました。包摂と排除の観点から教育の論理を問い直すことで、公教育をめぐる今日的状況を共有することができれば幸いです。その上で、既存の制度を組み替える可能性を持つオルタナティブ教育のあり方についても第25号で引き続き議論を深めていくことが期待されます。

また、投稿いただいた力作2本は、教育と社会との関係を問う貴重な論文となっています。論文検討会では、アドバイザーとフロアの皆さまとの活発な議論が展開されました。研究を深化させる当日の議論の様子から、改めてアドバイス制の意義を実感することができたように思います。合わせて4つの書評を掲載いたしました。評者の皆様に書評をいただいた著作は〈教育と社会〉の学を考えていく上で欠かすことのできないものとなっております。本号に掲載されました諸論考が、みなさまの今後の研究の一助になれば幸いに存じます。

最後になりますが、本研究会の大きな特徴であるアドバイス制を生かしながらよりよい論文をつくり上げていく場として、『〈教育と社会〉研究』25号への皆様からのたくさんの投稿をお待ち申し上げております。

今後とも一橋大学〈教育と社会〉研究会をよろしくお願いいたします。

(後藤篤、濱沖敢太郎、松浦加奈子、吉原大貴)

## 『〈教育と社会〉研究』第24号編集委員会

編集長：松浦加奈子

編集委員：後藤篤、濱沖敢太郎、吉原大貴、中田康彦、中澤篤史

## 『〈教育と社会〉研究』第25号原稿募集

執筆希望者は、前頁の投稿要領にしたがってご応募下さい。

投稿希望〆切：2015年1月末日

原稿〆切：2015年3月末日

募集原稿：論文／研究ノート／文献・資料紹介／書評

---

### 〈教育と社会〉研究 第24号

2014年9月30日 発行

編集発行 一橋大学〈教育と社会〉研究会

URL : [http://mail.soc.hit-u.ac.jp/~education/study\\_group.html](http://mail.soc.hit-u.ac.jp/~education/study_group.html)

E-mail : [edu.and.soc@gmail.com](mailto:edu.and.soc@gmail.com)

印刷 社会福祉法人 東京コロニー